

「戦争を体験していい世代として」

読谷中学校 一年一組 福里 ちなつ

私は「戦争とは、つらく、こわく、おそ

うしい、だから戦争をやってはいけません」と

よくきいたりします。

でも、私は戦争を体験していいから、ど

うやってにげたのか、なにがこわかったのか、

何を食べたのかなど、色々とギモンに思いま

した。

ギモンに思っ、たことをおばあちゃんに聞い

てみました。

すると、おばあちゃんが戦争のことについ

て、色々と教えてくれました。

おばあちゃんは、

「小学校二年生のときに戦争があり、戦争で

は、たくさんの方が亡くなって、おばあち

ゃんは、にげているときに、すごくおなか

すいて、持つていた食べ物ほとんど食べ

てしまった。だから、持つていた食べ物

一週間ぐらいで、すぐになくなっ

た^ら。

と話してくれました。

私はそこまで話をきいたとき、どれだけに

げたのた^らうと思いい^い、どれだけにげたらそん

なにおなががすくのかを、きいてみました。

でも、おばあちゃんは、走りすぎて覚えて

いないと笑って答えました。

また話をきくと、戦争では泣いていない

人を一回も見なかつたというこども、教えて

くれました。

みんな、とてもかなしんがいたんだ^らそう^で

す[。]

そして最後に、多くの人の命がうば^られた

戦争を、二度と、絶対にやつてはいけないと

教えてくれました。

私は、戦争の話をきいて、戦争があつた時

代、戦争をやつていた時代に生まれていなく

て良かったなあと思いました。

また、戦争の時代に生まれても、あきらめ

ずに、最後まで一生けんめいがんばつて、生

きようとした人たちも、本当にスゴいなあと
思いました。

そして、二人はにもさんニくで、悲しく、
多くの人の命がうばわれるこの戦争を二度
と、絶対におこなない、やらせないために、
二のような戦争の話をかたりついでいかな
といけないと、ありためて思い、感じました。

だから私は、戦争を体験していない世代の
一人として、戦争のこおさやおそろしさ、あ
きらめないで、一生けんめい生きる事の大切さ

そして、戦争を二度とやらはいけないとい
うことの理由についてもおかたりついで、い
までも平和で明るい世の中にしていきたいと
思います。